

埼玉医科大学病院ニュース

第 83 号



ゆい

患者さんと医療者を結ぶ情報誌

CONTENTS

ページ 2

座右の銘

小児科診療部長紹介

小児科 診療部長 秋岡祐子

ページ 3

私たち（診療科全体）が大切にしていること

ページ 4

こんな症状ありませんか？

ページ 5～7

小児科 治療・業務紹介

ページ 8～9

ちょっとためになる栄養の話

ページ 9

第 14 回 埼玉医科大学病院市民公開講座

ページ 10

アスリート通信

埼玉医科大学グループ アスリートクラブ

ページ 11

東館治療センター開設のお知らせ

ページ 12

基本理念

外来受診のご案内

新型コロナウイルス感染症に対する対応

外来駐車場のご案内



合言葉は
あなたの幸せが
私たちの幸せです

Your
HAPPINESS
Is Our
HAPPINESS



医師として大切にしていること

子どもの声が聞きたい

小児科に受診する患者さんの年齢は新生児から思春期・青年期におよびます。単に病気をみるのではなく、それぞれのお子さんの成長や発達段階にあわせて、また家族全体をみて診察するのが小児科医の役割だと考えています。

乳幼児では、診察をしながら、声なき訴えを探ります。親御さんに依存してなかなかしゃべろうとしない思春期の子どもたちの声を聞くには粘り強さが必要ですが、子ども自身の訴えを聞くことを大切にしています。

私自身は、子どもの腎臓病を専門に診療しており、慢性に経過する患者さんとの付き合いは成人後も続くことが少なくありません。慢性に経過する病気の診療では、医師と患者さんがお互いに依存しあうことが、思春期・青年期に達した患者さんの社会的自立を妨げる要因の一つだと考えています。慢性に経過する病気を抱えていても、同年代の子どもたちと変わらない生活を送れるように、人としての社会的な成長をはぐくむことを大切にしています。



座右の銘

Lean In（一歩踏み出せ）

フェイスブックの最高執行責任者シェリル・サンドバーグがキャリア形成について書いた著書の題名

小児科 診療部長

秋岡 祐子

プロフィール
東京都出身
東京女子医科大学修了
小児科専門医、腎臓専門医、透析専門医、腎移植専門医

私たち（診療科全体）が大切にしていること

子どもの健康をサポートしたい

小児科は、子どもたちが成人するまで見守る医療分野です。埼玉医大の小児科は、新生児科と小児科で構成されており、生まれる前から産科と新生児科が連携し、母親の全身状態、胎児の健康状態、出生後の新生児の管理まで、一連のユニットで診療しています。新生児科からのバトンを受けて、子どもの健康をみまものが小児科です。このように、産科・新生児科・小児科と外科治療を担当する小児外科で構成される成育医療チームが、子どもたちに途切れのない診療を提供しています。

小児科に所属する医師は、小児科専門医と呼ばれる資格を有し、あるいは資格取得のために研修中の医師ばかりです。さらに細分化された専門性の高い資格（新生児、臨床遺伝、アレルギー、内分泌、糖尿病、神経、てんかん、腎臓）をもつ医師たちが、慢性に経過する病気を、安全で確かな技術で診療しています。その、多彩な専門性を結集し、子どもの全身をみるのがモットーです。また、地域柄、子どもの入院施設が乏しいため、かかりつけ医さんと連携して様々な急性疾患をみています。

私たちは、未来を担う子どもたちの健康をサポートするために、今、何が必要か、柔軟に対応していきます。



秋岡祐子（あきおかゆうこ）

診療部長 教授

専門分野：小児腎臓病学

資格（専門医等）：小児科専門医、
腎臓専門医、透析専門医、
腎移植専門医

未来を担う子どもたちの健康を
サポートします



飛田和えりか（ひだわえりか）

病棟医長 助教

専門分野：小児腎臓病学

資格（専門医等）：小児科専門医、
腎臓専門医

子どもたちが健やかに過ごせる
よう、日々の診療に努めます



松本 浩（まつもとひろし）

診療副部長 准教授

専門分野：小児神経学

資格（専門医等）：小児科専門医、
小児神経専門医、臨床遺伝
専門医、てんかん専門医

熱性けいれんやてんかん、子
どもの発達のことなどみています。
お気軽にご相談ください



國方徹也（くにかたてつや）

新生児科 診療部長 教授

専門分野：新生児学

資格（専門医等）：小児科専門医、
周産期専門医（新生児）、
臨床遺伝専門医

出生から始まる子どもたちの健
康を守ります



武者育麻（むしゃいくま）

外来医長 助教

専門分野：小児糖尿病、小児内
分泌、先天代謝異常

資格（専門医等）：小児科専門医、
糖尿病専門医、内分泌代謝
科（小児科）専門医

子どもの成長のこと、何でもご
相談ください



本島由紀子（もとしまゆきこ）

新生児科 病棟医長 講師

専門分野：新生児学

資格（専門医等）：小児科専門医、
周産期専門医（新生児）

新しい生命を大切に守り、赤ちゃ
んとそのご家族が親子の絆を深
められるようお手伝いします

こんな症状ありませんか？

症状	症状に関する説明・対応	左記対応外来名 (該当時)	対応医師名
身長が低い、身長の伸びが遅い	同じ年齢・同じ性別のお子さんが100人いて、背の順に並んだときに前から1～2番目くらいが『低身長』の目安です。その中には、治療によって身長を伸ばすことができる病気が隠れている場合があります。「身長が低い」＝「病気」ではありませんが、原因を調べることが大切です。周りと比べて極端に身長が低い場合は、成長の記録（母子手帳や健診記録など）を持って小児科にご相談ください。	木曜 午前外来 月曜 午前外来	菊池 透 武者育麻
太り気味、太りすぎ	子どもの肥満は、年齢が進んでくると、心身に大きな問題を起こすことがあります。身長にも影響します。残念ながら、様子をみても改善することは、ほとんどありません。「太りすぎ」かなと思ったなら、早めに、スマート外来（小児肥満外来）を受診しましょう。	木曜 午前外来 月曜 午前外来	菊池 透 武者育麻
けいれん、突然倒れる、ぼーっとして記憶がない	乳児で一瞬頭をガクッと下げて手足を突っ張ることを繰り返す（点頭発作）、意識が途絶える（欠神発作・意識減損発作）、熱がないのに手足をガクガクけいれんさせる（強直間代発作）など。脳波検査で診断をつけて、治療を行います。	てんかんセンター 外来 (月・火・金曜日)	山内秀雄・松本浩 (てんかん専門医)
子どもの発達に不安がある	3か月健診で首がすわっていないと言われた。1歳を過ぎたが歩行ができない。1歳半になったが、まだ意味のある言葉を話さない。子どもの発達には個人差がありますが、このままでいいのかなと思ったときは、ご相談ください。	小児科一般外来 水曜日 午前外来	外来担当医 松本 浩
おねしょが治らない	5歳になってもおねしょが続いて心配な時はご相談ください。自然に治ることが多く、薬ですぐに治るというものではありませんが、生活改善や薬の服用を続けながらで継続的に治療していきます。	月曜 午前外来	秋岡祐子
蕁麻疹（じんましん）	蕁麻疹は、突然あらわれる赤み（紅斑）と、小さな皮膚のふくらみ（膨疹）にかゆみを伴う病気です。しばらくすると皮疹とかゆみが消えるのが特徴です。原因としては、食べ物や薬によるアレルギー性蕁麻疹のほか、寒さや圧迫などがきっかけとなる物理性蕁麻疹、疲れやストレスが関係するもの、はっきりした原因がわからない特発性蕁麻疹などがあります。多くの場合、原因の除去や回避、適切な薬物療法によって症状は改善しますので、小児科にご相談ください。	火曜奇数週 午前外来 金曜第1・3週 午前外来	板澤寿子 交代制 (アレルギー専門医)
かゆくて眠れない ぜいぜいで苦しい 食べられない物がある	アトピー性皮膚炎の軟膏をどう塗っていいのかわからない、気管支喘息の吸入を嫌がってさせてくれない、アナフィラキシー補助治療薬をどんな症状で使うのかわからないなど、アレルギーの困りごとや不安をお聞かせください。医師とともに、看護師として、その子その子に合った方法で治療が継続できるよう、一緒に考えさせて頂きたいです。	火曜 水曜 小児アレルギー 看護外来	大塚 砂織 山崎 美穂

治療・業務紹介

小児科は、子どもの成長と発達にかかわる多くの疾患や分野を担当する診療科です。小児科一般診療を行いながらも、いくつかの領域では、専門医の資格を持つスペシャリストが診療しています。わたしたち、埼玉医科大学病院小児科の診療の一部をご紹介します。

小児アレルギー外来

当院は、埼玉県で唯一のアレルギー疾患医療拠点病院であり、アレルギーセンターを開設しています。小児アレルギー外来では、食物アレルギー、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎・花粉症、薬剤アレルギーなど、幅広いアレルギー疾患に対して、専門的かつ包括的な診療を行っております。日本ではアレルギー疾患が増加傾向にあり、とくに子どもの食物アレルギーが増えています。食物アレルギー診療の基本は、「正しい診断に基づいた、必要最小限の原因食物の除去」です。そのため、当科では食物経口負荷試験を積極的に行い、症状が出ない範囲の量（安全摂取量）を確認しながら、定期的に摂取して症状があらわれなくなること（耐性獲得）を目指しています。また、気管支喘息は治療薬の進歩により、「発作ゼロ」を目標とした治療が可能になってきました。アレルギー疾患は、早期診断と早期治療が重症化を防ぐうえで大切です。お子さまとご家族に寄り添いながら、多職種が連携して、一人ひとりに最も適した医療を提供してまいります。

小児科・アレルギーセンター副センター長：板澤寿子

神経外来・てんかんセンター外来

神経外来では、熱性けいれん、神経筋疾患（からだが軟らかい、力が弱いなど）、神経発達症（ことばの遅れ、落ち着きがない、コミュニケーションが苦手など）、脳性麻痺などの患者さんの診療をしています。てんかんセンター外来ではけいれんを繰り返す、突然倒れる、ぼーっとして記憶がないなど、てんかんが疑われる症状のある患者さんの診療を行います。初診は完全予約制で受診日に脳波検査をしてすぐに結果をご報告できます。てんかんを専門とする小児科医とてんかん診療支援コーディネーターである看護師が担当します。診断や治療の難しい場合は、入院して長時間ビデオ脳波検査などの精密検査や治療を行う事もあります。また再診はパソコンなどを用いてビデオ通話で診察や処方を受けられるオンライン診療が可能な場合があります。

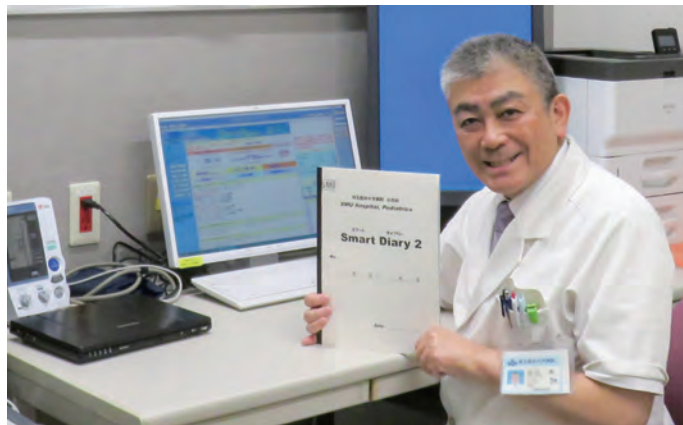
担当：山内秀雄・松本浩・颯佐かおり・寺西宏美・大滝里美



スマート外来（小児肥満外来）、小児糖尿病・内分泌外来

当診療科は、埼玉県唯一の小児の肥満症専門診療科です。独自に作成した小児肥満症・生活指導ノート「SMU スマートダイアリー」を用いて、行動療法的手法で、お子さんと家族に合わせた無理のない生活指導を行っております。具体的には、家庭で体重測定をしていただき、生活習慣の改善につながる生活の約束事を実践していけるよう支援しております。埼玉県全域の小児科クリニック、学校等から、たくさんの肥満の子ども達をご紹介いただいております。1年間の通院を継続していただければ、約7割の患者さんで肥満が軽快しております。当科のスマート外来の診療方法は、全国の小児科からも参考にされてます。

また、当科は小児糖尿病・内分泌の認定専門診療科でもあります。1型糖尿病、2型糖尿病、低身長、思春期早発症、甲状腺疾患、先天代謝異常症などの多くの患者さんの診療も担っております。特に、1型糖尿病では、インスリンポンプ治療など、最新の治療を行っています。全国的な臨床研究の中心施設でもあります。身体的なことだけでなく、心の成長も支援するように心がけており、埼玉小児糖尿病キャンプの支援もしています。



小児科：菊池 透

小児腎泌尿器・膠原病外来

腎・泌尿器外来では、腎臓専門医が、胎児期からの先天性腎尿路異常、学校検尿での尿異常、腎機能低下、尿路感染症の反復、おねしょが治らないなどの患者さんを診療しています。慢性に経過する腎炎やネフローゼ症候群では、腎生検で組織診断をして治療方針を決めています。腎機能が低下した患者さんでは、病気の種類と機能低下の程度に応じて、健康なお子さんとかわりない生活を送るためにどうしたらいいか、先を見据えた治療方針を提案しています。当科だけでは対応が難しい患者さんについては、他科や他院と連携を密にし、正確な診断と子どもとその家族にとって最適な治療の提供を目指しています。また、原因の良くわからない熱が持続する、関節が腫れて痛い、皮膚に発疹を認めるなど、さまざまな全身症状を認め、膠原病と呼ばれる自己免疫疾患が疑われる患者さんの診療も担っています。

尿異常は、さまざまな病気の初期症状として現れることも珍しくありません。原因の分からない症状が尿検査をきっかけとして診断に結びつくこともあります。どうぞお気軽にご相談ください。

小児科：秋岡祐子



発達外来

発達外来は、NICU（新生児集中治療室）を退院した患者さんが、その後発達・生活面で何かトラブルはないか、順調に成長しているかなどを長期的に見せていただく外来です。NICUからは、予定日より早く生まれた児、新生児仮死の児、その他の病気を抱えて生まれた児などが退院します。元気に退院する児が多いですが、中には何らかの合併症を抱えて退院する児もいます。その必要度に応じて、9歳まで見せていただくこともあります。状況により臨床心理士などを交え、当科を退院されたお子さまがご家庭で健やかに成育されるように地元医療機関と協力して支援しています。



新生児科：國方徹也



ちょっとためになる 栄養の話

栄養部

～秋の味覚 きのこと～



《ビタミンD》

人の皮膚には“ビタミンDの素”があり、紫外線に当たることでビタミンDが合成されます。

その合成量は、日差しの強さにも影響を受けます。

また外出の頻度が減ったり、日焼け止めや日傘といった紫外線を遮る状況や外に出る機会が減ると不足しやすくなります。

《きのこに紫外線を当てるとビタミンDがアップ》

ビタミンDは魚に多く含まれますが、きのこにもエルゴステロールという“ビタミンDの素”が含まれています。また、きのこも紫外線を浴びることでビタミンD含有量が増えます。一部メーカーのまいたけ等は特殊な紫外線で育てているのでビタミンDを多く含んでいますが、他のきのこたちは室内育ちでビタミンDの含有量はあまり多くありません。

天日干しの干しいたけなどは、ビタミンDが生のしいたけに比べ7-8倍に増加します。

他のきのこたちも数時間日光からの紫外線に当ててことで、そのまま食べるよりビタミンDが増加することが知られています。数時間きのこを日光に当ててから食べてみるのもいいかもしれません。

きのこは室内栽培が中心ですが、秋には路地物なども直売所には並びます。近年では、栽培種類も増えており様々な種類のきのこがスーパーに並んでいます。きのこはマッシュルームを除いて生食はできないので、加熱料理に向いています。気温が下がり、きのこ料理がおいしい季節になってきました。

皆さんはきのこをどんな料理で楽しんでいますか？

《きのこの栄養》

きのこにはカリウムや食物繊維など様々な栄養が含まれます。

今回は中でもきのこのビタミンDについて注目したいと思います。

ビタミンDはカルシウムの吸収を助け、筋肉の動きをサポートします。また免疫機能をサポートするといった働きもあり、とても大切な栄養素の一つですが、日本人はやや不足傾向にあり、特に小児や高齢者で不足が多いと言われています。

ビタミンDは穀物や野菜にはほとんど含まれず、魚やきのこに含まれています。



《ビタミンDがたっぷり鮭とキノコのグリルパン焼き》

(材料：2人分)

- ・ 鮭……………2切れ (80g × 2切れ)
- ・ きのこと……………100g (1パック)
- ・ 有塩バター……………5g

1人分カロリー 150kcal ビタミンD 27-30 μ g

※鮭 80g にはビタミンDが 26.4 μ g と多く含まれます。

きのこ 1/2 パックに 1-6 μ g 程度含まれます。

(食品栄養成分表 2025 より)



加熱前

蓋して
強火 8分



加熱後

(作り方)

- ①好きなきのこ（今回はひらたけ 1パック）をほぐし、グリルパンやアルミホイルに乗せ、グリルパンは蓋をしめ、アルミホイルの場合は焦げないように上を覆います。
- ②魚焼きグリルを強火で点火し、8分前後で焼き上がります。

※ビタミンDは脂溶性ビタミンなので油を使用することで吸収もアップします。

※生鮭の食塩相当量は0.1g程度です。お好みで醤油（小さじ1で塩分1g）やポン酢（大さじ1で塩分1.4g）をかけましょう。塩鮭（甘口で塩分1.4g程度）の時はバターのみ風味だけでも十分塩分があるのでレモン汁やゆずなどを絞って食べるのがおすすめです。

私（筆者）は良く、麻婆豆腐等とろみのある料理にはなめこを1袋追加して、カロリーを抑え食物繊維をアップしています。

きのこに含まれるβグルカン（食物繊維）はコレステロールの管理や血糖など様々な面で良い働きをしてくれます。冷凍保存しやすく安定価格のきのこを常備して、日々の食事に役立てましょう。

第13回 埼玉医科大学病院 市民公開講座を開催しました

2025年7月12日（土）に第13回埼玉医科大学病院市民公開講座を開催し、約160名の方に参加いただきました。質問応答時間においても多くの方からの質問をいただき、講師の先生方との対話を通じて、今回の内容に関して深くご理解いただけたことと思います。

次回開催時にはまたホームページ、SNS、広報誌等を通じてご案内いたしますので、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

第13回 埼玉医科大学病院 市民公開講座

参加無料
予約不要
定員150名

専門医はこう語る！病気のわかりやすい解説シリーズ その2
“腎臓と心臓の病気”

2025年7月12日（土）
13:00 開場 13:30 開始

会場：埼玉医科大学 本館 3階 第3講堂
埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷3-8-1

開会挨拶 副院長 岡田 浩一 第1部 13:35～14:35 「慢性腎臓病(CKD)ってどんな病気？」 講師 岡田 浩一 (腎臓内科 部長)	第2部 14:45～15:30 「腎臓・心臓のくすりと上手に付き合うために」 講師 小野 実 (薬剤師 部長)
「心不全ってどんな病気？」 講師 山本 哲二 (心臓内科 部長) 休講 14:35～14:45	質疑応答 総合挨拶 院長 榎本 晋人

お問い合わせ
埼玉医科大学病院 市民公開講座事務局
TEL: 049-276-1121



アスリート通信

埼玉医科大学グループ アスリートクラブ

第 73 回全日本実業団対抗 陸上競技選手権大会 2025 年 9 月 26 日～ 28 日

埼玉医科大学アスリートクラブ
(<http://www.smu-athlete.jp>)

9 月 26 日から 28 日にかけて維新みらいふスタジアム（山口県山口市）にて第 73 回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会が開催されました。本大会は実業団陸上競技の最高峰に位置づける大会となっており、同月に開催された東京世界陸上の日本代表選手が出場するなどレベルの高い大会となります。本学アスリートクラブからは男女 6 名の選手が出場しそれぞれの種目で全力を尽くしました。今回、女子駅伝部より本大会についてコメントを頂きましたので写真とともにご紹介いたします。

（女子駅伝部コメント）

駅伝に向けての練習の中ではありましたが、出場した 3 名すべての選手が今季一番の記録で走ることが出来ました。保坂・吉田選手は課題の後半の走りを磨き、日本選手権標準記録に肉薄しました。カドゴ選手は格上の 14 分台の選手に果敢に攻め試合中も何度もトップに立ってコンマ差で 3 位ではありますが大きく自己記録を更新しました。この勢いを駅伝に発揮できるよう引き続き精進致します。

1500m	保坂野恋花	4 分 21 秒 49	シーズンベスト・入社後ベスト
800 m	吉田詩央	2 分 08 秒 31	シーズンベスト・入社後ベスト
5000 m	チェボティビン カドゴ	15 分 06 秒 95	自己ベスト・チーム新記録



女子 5000 m カドゴ選手（表彰台右側）



女子 1500 m 保坂選手



女子 800 m 吉田詩音選手



女子 5000 m カドゴ選手

東館治療センター 開設のお知らせ

外来化学療法室は、2014年3月3日に中央治療センター（本館1階）を拡張する形で8床にて運用を開始し、外来における化学療法・生物学的製剤による治療に尽力してまいりました。開設当初（2014年度）に比較して治療する患者さんが約1.8倍に増加しております。現在も増加傾向が続いており、8床では対応が困難な状況となっております。

これを改善するために、この度、2025年10月1日に、外来化学療法室は「東館治療センター」へと名称変更のうえ、東館6階に移転し、従来通りの外来化学療法・生物学的製剤投与の機能を持つ1部署としての再出発となりました。リニューアル・オープンに際し、8床から15床（電動リクライニングチェア14床＋ベッド1床）に増床し、機能の面でも充実が図られました。また、6階の治療センターからは毛呂山町を見渡せるようになり、センター内部も広く明るくなり、快く治療できるように改善していただきました。

東館治療センタースタッフ一同、医師、看護師、薬剤師がそれぞれの専門性を活かし、安全で安心な医療を提供できるよう、一丸となって努力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



—基本理念— 当院は、すべての病める人に、満足度の高い医療を行うよう努めます。

病院の基本方針

1. すべての病める人々にまごころをもって臨みます。
2. 安心で質の高い医療を実践します。
3. まわりの医療機関と協力し合います。
4. 高い技能を持つ心豊かな人材を育成します。
5. より幸せとなる医療を求めた研究を推進します。

患者さんの権利

1. ひとりひとりが大切にされる権利
2. 安心で質の高い医療を受ける権利

3. ご自分の希望を述べる権利

4. 納得できるまで説明を聞く権利
5. 医療内容をご自分で決める権利
6. プライバシーが守られる権利

小児患者さんの権利

1. こどもが最善の治療を受けて生きる権利
2. こどもが暴力から守られる権利
3. こどもが能力を十分に伸ばせるような医療を受ける権利
4. こどもが自分の診療について自由に意見を述べる権利

外来受診のご案内

診療日 月曜日～土曜日

休診日 日・祝日、年末年始（12/29～1/3）

診察時間 9:00～17:00

受付時間 8:30～17:00（初診の方 8:30～11:00、12:30～14:00（土曜日を除く）※）
※紹介状をお持ちの方のみ（一部診療科は除く）になります。

紹介状をお持ちの方は、事前に予約センターで電話予約をしたうえでご来院ください。

電話番号 049-276-1179

受付時間 8:30～17:00（月曜日～土曜日（日・祝日を除く））

新型コロナウイルス感染症に対する対応

新型コロナウイルス感染症が「5類」に移行し、医療機関では高齢者など重症化リスクの高い人たちが集まるため、施設内において感染が拡がらないよう対策を続けていくことが求められています。

来院される際には今まで通り**手指衛生の実施**、院内では常に**マスク着用**をお願い致します。

最新の情報を元に、より良い感染対策を考え、患者さんに安心できる医療を提供できるようにこれからも取り組んでまいります。

駐車場のご案内

構内有料 駐車場

A 駐車場（障害者専用）、
B 駐車場、C 駐車場、
1ビル前駐車場（障害者専用）

→外来患者さんが最優先で駐車可能です。

構外提携 有料駐車場

上記以外のD-Parking
（白い看板）

→外来患者さんとお見舞いの方用になります。

検印

第1ビル駐車場管理室
本館1階整備センター

障害者手帳の交付を受けている方は、駐車券を手帳と一緒に割引処理窓口にご提出下さい。駐車料金が無料となります。

埼玉医科大学病院ニュース 第83号

発行日 2025年12月1日

発行責任者 病院長 篠塚 望

編集発行 埼玉医科大学病院 病院広報戦略室

TEL 049(276)1121

FAX 049(294)8222

www.saitama-med.ac.jp/hospital/index.html

